

第 33 号
平成 17. 3. 1 発行
編集 京都教育大学
保健管理センター

CAMPUS HEALTH



畑 純恵

京都教育大学大学院生

— 保健管理センター業務予定 —

定期健康診断

4月4日(月)	2・4回生以上, 大学院・特専	午前	男子,	午後	女子
4月5日(火)	1・3回生, 外国人留学生	午前	男子,	午後	女子

私の健康法

副学長 手 島 光 司

人間誰しも還暦をすぎると頭の先から爪先まで病気とは言えないにしても何か所かの不具合な部分が生じてくるようです。私の場合には、先ず頭の先（説明不要）と頭の中、視力、聴力、歯、等々。気になるところも数えると十指に余ります。でも、生まれてこの方、一度も入院したことはありません。これまで健康的な生活を送ってきた原因を考えますと、子供の頃に経験した疎開生活の影響があるのではないかと考えています。日本が太平洋戦争に突入する1年半ほど前に大阪で生まれましたが、敗色が濃厚になって来るにつれて都市生活者にとっては厳しいものになって行きました。空襲の危険が迫ってきた終戦の前年には、父方の叔母のいる隠岐島（島後）の山の中の電気もない戸数20程度の山村に疎開し、終戦後も小学校3年生までそこで暮らしました。山肌にしがみついたような集落で、もともと食料が豊富などころではなかったのですが、我々のような都会からの新参者には必ずしも十分な食料は配給されず、盛り切りの大根飯や、干し芋など、都会の人と同じ経験をしました。従って、食べ物の好き嫌いはなく、大事にする習慣が身に付いています。集落はすり鉢状の地形の中程にありまして、毎日坂を上ったり下りたり、近くの村までは6km程ありますが、1日2度のバスには殆ど乗らず、歩くのが普通です。私は集落にある村の小学校の分校に通いましたが、中学生の姉たちは村まで歩いて通学していました。学校から帰ると勉強道具を放り出して友達と野山を駆け回る毎日で、山で椎や栗の実、木イチゴ、草イチゴ、川で蟹や小魚を捕って食べました。そういった子供時代を送ったことが、今でも少々の距離を歩くことを厭わず、過度のグルメに惑わされることもなく、いわゆる生活習慣病に陥らなかった要因だと思っています。

先日何かの講演会で、都会に住む多くの現代人は近代技術に支えられた生活意識を持っているが、日本の地勢からすると日本人の深層心理に働きかけるものとして狩猟民や農耕民としての生活意識があるのではないかという話がありました。確かに、最今の中高年の登山ブームや田舎暮らし志向を見ているとそんな感じがします。私も例外ではなく、山野に出るのが好きですが、深層心理に加えてかなり強い原体験があるからだと思っています。退職後の時間は恐らくその原体験を追体験することに多くの時間を割きそうな気がします。若い人たちにもできるだけそのような体験のできる場を提供し、深層心理を呼び覚ましてあげたいと思っています。

平成17年度健康診断について

平成17年度の健康診断は下記の日程で実施しますので必ず受検してください

実施日	受付時間	対象者
4月4日 (月)	9:00～11:30	新2回生・新4回生以上・大学院・特専の男子
	13:00～16:30	新2回生・新4回生以上・大学院・特専の女子
4月5日 (火)	9:00～11:30	新1回生・新3回生・外国人留学生の男子
	13:00～16:30	新1回生・新3回生・外国人留学生の女子

上記の日程で受検できない学生は、事前に保健管理センターに申し出てください

(TEL 075-644-8170)

実施項目 胸部間接撮影, 身長, 体重, 視力, 血圧, 検尿, 内科検診

= 注意事項 =

- 1) 今年は受け付けの位置が変わります。F棟大講義室2の北側階段から入ってもらいますので注意してください。
- 2) 午前が男子、午後が女子ですので気をつけてください。
- 3) 検尿は、受検日当日に受付で容器を受け取りF棟で採尿します。
- 4) 脱衣しやすい服装（絵柄のない無地のTシャツ等）で受検してください。
- 5) 定期健康診断（全項目）を受検していない学生については、健康診断証明書の発行は出来ませんので注意してください。
- 6) 研究生、科目等履修生の方は受検できません。
- 7) 平成17年度は全国の国立大学を対象にした「学生の健康白書」の調査年にあたります。このため例年より調査用紙が多くなりますが、プライバシーには十分配慮して実施しますのでよろしくご協力ください。

自動証明書発行機での健康診断証明書発行時の注意事項

定期健康診断（全検査項目）を受検していないと就職や介護体験、対外試合及び大学院入試等に必要となる健康診断証明書の発行はできません。

健康診断に関する質問等は、保健管理センターへどうぞ。

業務案内

心の健康相談の日時については予約申込みをしてください。

(TEL075-644-8172 または nakkan@kyokyo-u.ac.jp)

応急処置 月～金 9:00～17:00 (但し,12:30～13:30は除く。)

(TEL075-644-8170)

「冬のソナタ」と「ゴクセン」～“ノーメン”文化論

昨年は韓流ブームの嵐が吹き荒れました。その勢いは今年も続きそうです。殊に中年女性の熱い「ヨン様」慕情には圧倒されます。日本人が見失った？純愛に共感する人が多いためといわれています。確かに今は死語になったのではないと思われる「素直さ」「純粹さ」「誠実さ」は韓流ドラマに色濃く描かれています。それは20年前の日本のドラマでも描かれたものだと冷ややかに見ている人もいます。

ただ最近のマスコミが度々取り上げる若ものの凶暴な事件を思うと、「冬ソナ」ブームにも別の意味が隠れているのではと考えてしまいます。それは事件を犯した若ものの無感動とも思える姿です。私たち日本人は外国人から見ると、能面のように表情の乏しい国民と思われていた時代がありました。しかし日本人の繊細な感情表出を、当時の西欧文化では感受できなかったのかも知れません。笑い話ではありませんが日本人には統合失調症が多いのではないかと誤解されたほどです。

しかし日本の繊細な感情表出は変質してきたように思います。殊に戦後ではマンガやアニメーションが流行して、今や世界に誇る日本文化の1つになっています。しかしマンガやアニメではその特性から微妙な感情表現が制限されており、いつもは無表情、激怒したら鬼の形相、爆笑したら間抜け面など、まるでデジタル的な感情表現が基礎になっています。しかも人気マンガはテレビドラマ化され、その主人公も無表情・無感動人間を演じています。最近の「ゴクセン」という人気ドラマでも主人公は能面のような無表情さを持ちながら、水戸黄門やスーパーマンのように豹変することで好評を博しているようです。

このような無表情さは、日本人の本来の控え目な表情とも異なり、むしろ無味乾燥で殺伐とした印象を与えます。この中で「冬ソナ」や「美しき日々」の豊かな感情表現に惹かれるのも無理のないことかも知れません。この無感動さは子供から生きる喜びや勇気を奪い、冷酷な事件の基盤になっているのかも知れません。昔、クルト・シュナイダーという精神医学者が、人格特性の一つとして「情性欠如者」を分類しました。これは人に対する優しさや思いやりが欠如した人で、重大な犯罪に関わる傾向のあることを示しました。また最近では「非攻撃性人格」（“怒れない人”）も注目され、実際に「怒り」を経験したことがないという子供もいます。洋の東西をとわず無感動は大きな問題なのです。

戦後の日本は豊かな情性をどこで失ったのでしょうか。能面がノーメン（のっぺらぼう）から No Men（人間無用）にならないようにと願っています。